

2021年秋学期 交換留学体験談

建国大学 ソン ヒョンジュ

私は2021年の10月から1学期間お茶の水女子大学で交換留学したソン・ヒョンジュと申します。

この1学期間の交換留学の経験について紹介したいと思います。

今学期の交換留学はコロナで日本への入国ができず、一部の学生以外には基本オンライン授業という形で行われました。

オンライン授業は主にzoomを使っていて、課題としてはグループで行う活動や発表などがある授業が多かったです。そのため、授業以外の時間にもグループとのミーティングでzoomを使うことが多いでした。

私が受けた授業は2つの種類で、留学生向けの授業と留学生と日本人学生両方向けの授業がありました。

留学生向けの授業では、日本語演習3bの授業が特に面白かったと思います。この授業は自分のインタビューテーマと対象を選定して、その対象と日本語でインタビューを行い、最終的にはパンフレットを制作する授業でした。自分の興味と関係があるテーマで日本の方とインタビューをするということがすごく面白くて新鮮でした。インタビューを取る過程で丁寧にメールを書いたり、実際日本語でインタビューを行ったりする中で日本語の面ですごく勉強になったと思います。

次に、留学生と日本人学生両方向けの授業の場合は、日本語学概論と多文化共生論の2つを受講しました。この2つの授業は、私が韓国の大学で専攻している日本語教育と教育工学関連の授業だったので受講前から興味もありましたし、実際にもすごく勉強になった授業だったので記憶に残っています。

日本語学概論の授業では主に日本語の文法に対して勉強した後、グループで主題を選定して日本語の授業を設計する活動を行いました。グループ内で留学生と日本人学生の意見を集めながら、外国人と母語話者からの多角的な意見が聞けてすごく良かったし、教育方法についての勉強もなったと思いました。

また、多文化共生論の授業では、グローバル研修に対するケーススタディーの後、グループで実習プログラムを設計する活動を行いました。この授業では大体専門用語になっているテキストを読むことが多かったし、教育設計の実務に近い、本格的なグループワークを行ったため、本当に勉強になった科目でした。グループで長い期間にあたって話し合っでてすごく細かい部分まで実習を設計する体験ができたし、ウェブサイトを制作することを担当したりもして新しいことに挑戦できて、本当に自分に役立つことになったと思いました。

コロナでオンラインでの留学になりましたが、この1学期間の交換留学で、他の留学生や日本人学生との交流ができたし、授業を受けながら勉強になることがすごく多かったので1学期で終わるのが残念なくらい経験になったと思います。